

2026年4月28日

「大阪・関西万博」中国パビリオン

論語の一節が書かれた外壁パネルが関西国際空港に設置されました。

～Expo Legacy Project : China～

関西エアポート株式会社は、「大阪・関西万博」の中国パビリオンの外壁パネルが、関西国際空港に設置されたことをお知らせします。

「Expo Legacy Project」は2025年大阪・関西万博で発信された各国の文化や価値観、サステナビリティに関するメッセージを、万博後も空港を通じて発信していくプロジェクトです。

2025年大阪・関西万博の中国パビリオンは、「自然と共に生きるコミュニティの構築 -グリーン発展の未来社会-」をテーマに、自然に由来し、自然に順応し、自然と調和して生きる中国文化を表現する展示物の数々が、壮大な演出と最新技術とともに展示されました。中国パビリオンは、その特徴的な外観も魅力の1つで、古代の竹簡でできた巻物を広げたような外壁には、中国の書道でさまざまな言葉が書かれていました。その中の1つ、日本でも有名な論語の一節「有朋自遠方来 不亦乐乎」(友あり遠方より来る。また楽しからずや。)が刻まれた外壁パネルが、万博による両国の交流を記念する証として、中国パビリオンおよび中国国際貿易促進委員会より、関西国際空港に寄贈されました。

中国と大阪・関西地域は、これまでも経済、文化、学術など多岐にわたる分野で深い関係を築いてきました。関西国際空港は、まさにこの論語の言葉が表すように、長年にわたり多くの中国からのお客様を迎え入れ、交流の玄関口としての役割を果たしてきました。万博という国際的な舞台で生まれた友好の証が空港に展示されることで、これから空港を訪れる国内外の方々にも万博で育まれた交流の物語を感じていただきたい、大阪・関西地域全体で中国からのお客様に歓迎の意を伝えたいという気持ちをこめています。

また、今回の設置を記念し、両国の交流を促進する関係者をお招きし、関西国際空港にて記念セレモニーを実施いたしました。

関西エアポートグループは、今後も、空港運営を通じて地元地域や海外各国との交流や連携の促進に貢献してまいります。

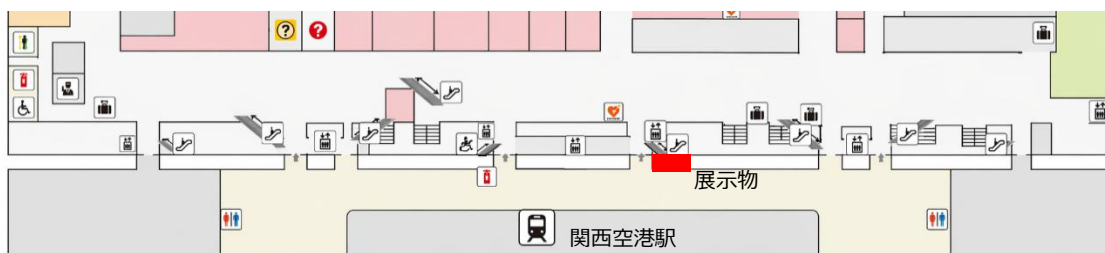
●設置場所

関西国際空港第1ターミナル2階部分壁面（中央扉付近）

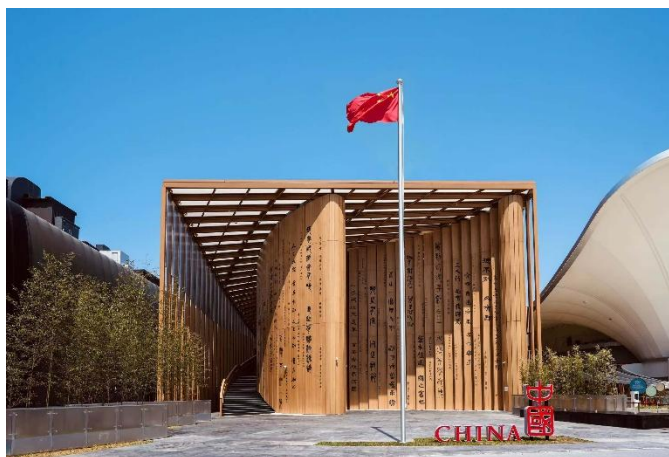
※24時間見学自由

※どなたでも入ることができる場所です。

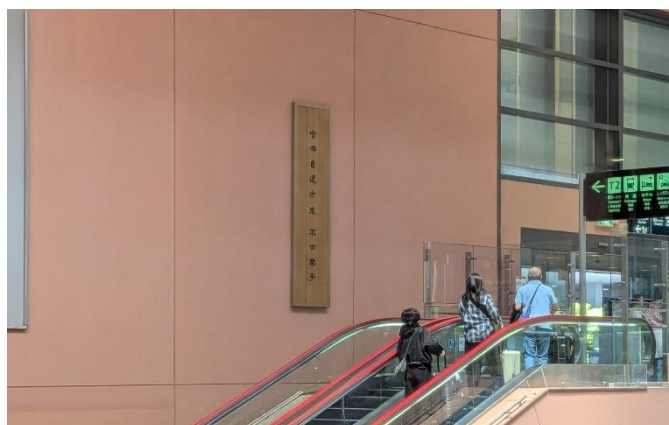
●展示期間 3年以上を予定



EXPO LEGACY PROJECT



中国パビリオン外観



空港内の設置場所



セレモニーの様子



【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約36,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14カ国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ（スコープ1および2）にすることを目標に掲げ、ステークホルダーの取り組みをサポートするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社NANKAI、NTT西日本株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構